

財産目録 の書き方

記入例（裏面）と
あわせてご覧ください

① 年月日

郵送で提出する場合は、郵便を投函する日を記入します。
持参の場合は、申請書を提出する日を記入します。

② 1申請者名等

住所（又は所在地）、氏名（又は名称）を記入します。

③ 2財産の状況(1)預貯金の状況

申請書を提出する日現在の自宅や事務所などに保管している「手持ち現金」の金額を記入します。次に、預貯金のある金融機関の名称・支店名、預貯金等の種類（普通、当座など）を記入します。

「現金・預貯金等合計（A）」には、手持ち現金と預貯金の合計を記入します。

※預貯金等のうち、借入れの担保になっているものについては、「（3）その他の財産の状況」欄の「その他の財産」欄に記入します。

④ 2財産の状況(2)売掛金・貸付金等の状況

売掛金・貸付金等について、売掛先等の名称、住所、種類、回収予定日（手形の場合は支払期日）、回収方法及び金額を記入します。

「種類」に、売掛金、貸付金、未収金等の種類を記入します。

「回収方法」に、現金、振込、手形、小切手等の回収方法を記入します。

⑤ 2財産の状況(3)その他の財産の状況

国債・株式等の有価証券、不動産等、車両などを所有している財産をそれぞれの欄ごとに記入します。

「その他財産」欄には、敷金、保証金、保険等のほか、預貯金等のうち、借入れの担保となっているものを転載します。ただし「（1）預貯金の状況」欄に記入した財産は、記入する必要はありません。

「担保等」欄には、記入した財産に抵当権等の抵当権が設定されている場合にはチェックを付けます。

「直ちに納付に充てられる金額」欄には、記入した財産のうち、現金化することが容易で、直ちに納付に充てられる財産の金額を記入し、その合計金額を「合計（B）」欄に記入します。

⑥ 2財産の状況(4)借入金・買掛金の状況

「借入金等の名称」、「借入金等の金額」、「月額返済額」、「返済終了（支払）年月」、「追加借入の可否」及び「担保提供財産等」を記入します。

「月額返済額」に、毎月の平均的な返済額を記入します。

「返済終了（支払）年月」に、借入金の返済が終了する、又は買掛金等を支払う年月を記入します。

「追加借入の可否」に、借入の枠が残っているなど、追加借入ができる場合は「可」に、できない場合は、「否」に○印を付けます。

「担保提供財産等」に、借入金等のために抵当権を設定しているものなど、担保として提供している財産等を記入します。

⑦ 3現在納付可能資金額

「①当座資金額（（A）+（B））」欄には、次の金額の合計額を記入します。

イ 「（1）預貯金等の状況」欄の「現金・預貯金等合計（A）」欄の金額

ロ 「（3）その他の財産の状況」欄の「合計（B）」欄の金額

「②当面の必要資金額（C）」欄には「※「②当面の必要資金額」の内容」欄において計算した金額を記入します。

「③現在納付可能資金額（①-②）」欄には、「①当座資金額（（A）+（B））」欄の金額から「②当面の必要資金額（C）」欄の金額を差し引いた金額を記入します。

※「③現在納付可能資金額（①-②）」欄の金額は、直ちに納付に充てることができる金額であるため、できるだけ速やかに納付してください。納付がない場合は、猶予が不許可になることがあります。

⑧ ※「②当面の必要資金額」の内容

申請書を提出する日からおおむね1か月以内に支出する事業の継続や生活のために必要不可欠な金額を記入します。

【法人等で事業を行っている場合】 「事業支出（法人等の場合）」にチェックを入れます。

「支出見込」…仕入、従業員給与、役員報酬、家賃、諸経費、借入返済などの支出を記入します。

「収入見込」…売上収入その他の恒常的な収入を記入します。

【個人の場合】 「生活費（個人の場合）」にチェックを入れます。

「支出見込」…申請者及び申請者と生計を一にする配偶者その他の親族のために実際に支払う生活費を記入します。

生活費の例：住居費（家賃・駐車場代・住宅ローン）、食費、水道光熱費、通信費、交際費、医療費、教育費、保険掛金、借入返済

申請者を生計を一にする配偶者その他の親族の中に、生活費を負担している人がいる場合は、「家族等の収入」と記入し、その人の負担金額をマイナスで記入します。

※「生計を一にする家族の人数（申請者本人を含む）」には、申請者本人及び申請者と生計を一にする配偶者その他親族の人数を記入します。

「収入見込」…給与及び報酬の手取り額、不動産賃料収入、その他恒常的な収入を記入します。

年金は、1か月あたりの相当額を記入します。

「支出」…申請者及び申請者と生計を一にする配偶者その他の親族のために実際に支払う生活費を記入します。

生活費の例：住居費（家賃・駐車場代・住宅ローン）、食費、水道光熱費、通信費、交際費、医療費、教育費、保険掛金、借入返済

申請者を生計を一にする配偶者その他の親族の中に、生活費を負担している人がいる場合は、「家族等の収入」と記入し、その人の負担金額をマイナスで記入します。

※「生計を一にする家族の人数（申請者本人を含む）」には、申請者本人及び申請者と生計を一にする配偶者その他親族の人数を記入します。

「（支出見込）-（収入見込）（C）」…支出見込額から収入見込額を引いた金額を記入します。マイナスの場合は、0円とします。この欄の金額を「3現在納付可能資金額」の「②当面の必要資金額（C）」欄に転記します。



記入例

①

令和〇年〇月〇日

書き方(裏面)とあわせてごらんください

財 産 目 録

1 申請者名等

住所 所在地	一宮市〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	氏名 名称	〇〇株式会社
-----------	-----------------	----------	--------

2 財産の状況

(1) 預貯金等の状況

金融機関等の名称	預貯金等の種類	預貯金等の額	金融機関等の名称	預貯金等の種類	預貯金等の額
手持ち現金	現金	600,000 円			円
〇〇銀行〇〇支店	普通	450,000 円			円
〇〇信用金庫〇〇支店	当座	80,000 円			円
現金・預貯金等合計(A)					1,130,000 円

(2) 売掛金・貸付金等の状況

売掛先等の名称・住所	種類	回収予定日	回収方法	売掛金等の額
〇〇機器株式会社	売掛金	RO・〇・〇	振込	1,800,000 円
株式会社〇〇	貸付金	RO・〇・〇	手形	700,000 円
〇〇精密工業株式会社	売掛金	RO・〇・〇	小切手	1,500,000 円
				円

(3) その他の財産の状況

財産の種類	担保等	直ちに納付に充てられる金額
国債・株式等	株式会社〇〇 上場株式200株	〇 円
不動産等	工場建物敷地(〇〇市〇〇〇〇〇〇〇〇)	〇 円
車両	事業用車両3台(一宮330あ1234、一宮500あ5678、一宮500あ9012)	〇 円
その他財産 (敷金、保証金、保険等)	〇〇銀行〇〇支店(定期400,000円 満期日:令和〇年〇月〇日、〇〇生命保険)	〇 円
合計(B)		〇 円

(4) 借入金・買掛金の状況

借入先等の名称	借入金等の金額	月額返済額	返済終了(支払)年月	追加借入の可否	担保提供財産等
〇〇銀行〇〇支店	15,000,000 円	350,000 円	RO 年 〇 月	可 否	工場土地建物
〇〇信用金庫〇〇支店	1,800,000 円	150,000 円	RO 年 〇 月	可 否	
	円	円	年 月	可・否	

3 現在納付可能資金額

①当座資金額((A)+(B))	②当面の必要資金額(C)	③現在納付可能資金額(①-②)
1,130,000 円	1,800,000 円	〇 円

※「②当面の必要資金額」の内容

項目	金額	内 容					
事業支出 (法人等の場合)	1,800,000 円	仕入	770,000 円	従業員給与	240,000 円	役員報酬	200,000 円
		家賃等	〇 円	諸経費	90,000 円	借入返済	500,000 円
生活費 (個人の場合)	円	住居費(家賃・住宅ローン・駐車場代)	円	食費	円	被服費	円
		水道光熱費・通信費・新聞代(ネット料金含)	円	こづかい・交際費等	円	保険掛金	円
		その他ローン(事業用を除く)	円	医療費・教育費・養育費	円	家族等の収入・家族等からの借入等(マイナスで記入)	円
収入見込	〇 円						
(支出見込)-(収入見込) (C)	1,800,000 円	マイナスになった場合は0円					